

令和5年長崎市観光統計

【確報版】

長 崎 市

・訪問客数

長崎市への訪問客数は、長崎市が地理的に西の端に位置することに鑑み、長崎市を通過して他都市へ移動する者が少ないと推測し、交通機関別の入込客数に基づき作成している。

長崎市への入込交通機関として、鉄道、自動車、船舶及び長崎空港に到着する航空機を加え、各交通機関別の入込客数を基に、月ごとの訪問客割合を考慮して推計している。

ただし、令和2年以降における訪問客割合は新型コロナウイルス感染症の影響を加味して推計している。

※長崎市は、国内観光のみならず、インバウンドやMICE、スポーツ、文化など多様な目的を持つ訪問客から選ばれるまちを目指していることから、令和4年観光統計から従来の「観光客数」の表記を「訪問客数」へ変更している。

・宿泊客数・日帰り客数

宿泊客数は市内主要宿泊施設における宿泊客数実績の前年比伸び率を基に推計しており、日帰り客数については全体の訪問客数から宿泊客数を減じて算出している。

ただし、令和2年以降における宿泊数および日帰り客数は新型コロナウイルス感染症の影響を加味して推計している。

・個人客数・団体客数(一般・学生)

団体客数(学生)は、令和元年の団体客数(学生)に市内主要観光施設における団体客数(学生)の令和元年から令和5年の伸び率を乗じることで推計しており、団体客数(一般)は、訪問客数に長崎市日本人観光客動向調査の旅行形態内の団体旅行の割合を乗じて推計している。また、個人客数については全体の訪問客数から団体客数を減じて算出している。

・外国人延べ宿泊客数(国・地域別)

市内宿泊施設における外国人宿泊客数実績に基づき推計している。

・MICE統計(MICE件数・MICE参加人員)

一般社団法人長崎国際観光コンベンション協会において、MICE受入施設への聞き取り調査等に基づき算出している。

・観光消費額・経済波及効果

一般訪問客の観光消費額は、観光動向調査により算出した宿泊・日帰り別／一般・学生別の1人当たり観光消費単価を3か年平均して、宿泊・日帰り別／一般・学生別の訪問客数に乗じて算出している。

学生訪問客の観光消費額は、「教育旅行年報」(日本修学旅行協会発行)における調査データを元に宿泊・日帰り別の観光消費単価を設定し、宿泊・日帰り別の訪問客数に乗じて算出している。

目 次

1	令和5年の観光動向	1
2	観光統計総括表	5
3	訪問客数・観光消費額の推移	6
4	月別訪問客数	8
5	宿泊客・日帰り客の推移	9
6	個人客・団体客の推移	10
7	交通機関別訪問客数の推移	11
8	クルーズ客船入港隻数及び乗客・乗務員数	12
9	外国人延べ宿泊者数の推移	14
10	国・地域別外国人延べ宿泊者数	15
11	MICE統計	17
12	経済波及効果	21
— 参考資料 —		
1	訪問客数の推移	23
2	主要観光施設の入場者数	24
3	主要イベントの集客数及び経済波及効果	24
4	宿泊施設の状況	25

1 令和5年の観光動向

(1) 全国の観光動向

日本人国内旅行消費額			
21兆9,101億円	前年比27.7%増	(4兆7,492億円増)	
① 宿泊旅行	17兆7,960億円	前年比29.7%増	(4兆707億円増)
② 日帰り旅行	4兆1,141億円	前年比19.7%増	(6,785億円増)
日本人国内延べ旅行者数			
4億9,758万人	前年比19.1%増	(7,973万人増)	
① 宿泊旅行	2億8,135万人	前年比21.0%増	(4,888万人増)
② 日帰り旅行	2億1,623万人	前年比16.6%増	(3,084万人増)
日本人国内旅行1人あたり旅行単価			
44,034円	前年比7.2%増	(2,965円増)	
① 宿泊旅行	63,253円	前年比7.1%増	(4,211円増)
② 日帰り旅行	19,027円	前年比2.7%増	(495円増)

日本人の国内旅行消費額は、前年比27.7%増(4兆7,492億円増)の21兆9,101億円であった。日本人の国内延べ旅行者数は、宿泊旅行が前年比21.0%増(4,888万人増)の2億8,135万人、日帰り旅行が前年比16.6%増(3,084万人増)の2億1,623万人で、全体として前年比19.1%増(7,973万人増)の4億9,758万人となり、日本人国内旅行の1人1回当たり旅行単価は前年比7.2%増(2,965円増)の44,034円となった。

(出典)観光庁「旅行・観光消費動向調査」2023年年間値(確報)

訪日外客数	
2,506万6,100人	前年比554.1%増(約2,123万人増)

令和5年に日本を訪れた外国人(訪日外客数)は、前年比554.1%増(約2,123万人増)の2,506万6,100人と激増した。令和2年以降新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けてきたが、4月の水際措置撤廃以降、訪日外客数は右肩上がり急回復を遂げ、単月では10月に初めて令和元年比100%を超えており、年間累計では令和元年比78.6%と8割程度まで回復が進んだ。

(出典)日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数(2023年12月および年間推計値)」

外国人延べ宿泊者数

1億1,434万人泊 前年比592.8%増(約9,783万人泊増)

外国人延べ宿泊者数は、前年比592.8%増(約9,783万人泊増)の1億1,434万人となった。

また、国籍(出身地)別外国人延べ宿泊者数は、第1位が韓国(約1,381万人泊、シェア14.9%)、第2位以下は台湾(約1,286万人泊、シェア13.8%)、中国(約1,072万人泊、シェア11.5%)、アメリカ(約1,039万人泊、シェア11.2%)、香港(約661万人泊、シェア7.1%)と続き、上位5か国・地域で全体の約58.5%を占める。

※国籍(出身地)別外国人延べ宿泊者数は、従業者数10人以上の施設に対する調査から作成されており、全体で9,284万9,390人泊となっている。

(出典)観光庁「宿泊旅行統計調査(令和5年年間値(速報))」

訪日外国人旅行消費額

5兆3,065億円 前年比490%増(4兆4,078億円増)

訪日外国人旅行者1人当たり旅行支出

21万2,764円 前年比9.3%減(2万1,760円減)

訪日外国人の旅行消費額は前年比490%増(4兆4,078億円増)の5兆3,065億円と大幅に増加したが、1人当たりの旅行支出は前年比9.3%減(21,760円減)の21万2,764円と減少した。

国籍・地域別の旅行消費額では、台湾が最も高く(7,835億円、シェア14.8%)、次いで中国(7,604億円、シェア14.3%)、韓国(7,392億円、シェア13.9%)、アメリカ(6,070億円、シェア11.4%)、香港(4,800億円、シェア9.0%)の順となっており、上位5か国・地域で全体の63.5%*を占める。

1人当たり旅行支出は、オーストラリアが最も高く(34万1千円)、次いでスペイン(33万6千円)、イタリア(33万4千円)の順で高い。

※小数点第2位以下を四捨五入しているため、5か国・地域の合計値と一致しない。

(出典)観光庁「訪日外国人消費動向調査 2023年暦年調査結果(確報)の概要」

(2) 長崎市の観光動向

訪問客数			
531万9,400人	前年比31.4%増	(127万600人増)	
① 宿泊客数	224万8,300人	前年比 27.1%増	(47万9,900人増)
日帰り客数	307万1,100人	前年比 34.7%増	(79万700人増)
② 個人客数	483万4,500人	前年比 39.8%増	(137万7,500人増)
団体客数	48万4,900人	前年比 18.1%減	(10万6,900人減)
〔一般団体客数	20万7,500人	前年比26.8%減	(7万5,900人減)
〔学生団体客数(修学旅行生)	27万7,400人	前年比10.1%減	(3万1,000人減)
外国人延べ宿泊客数			
25万8,226人泊	前年比552.6%増	(21万8,655人泊増)	
クルーズ客船入港数、乗客・乗務員数			
入港数	96隻	前年比-	(96隻増)
乗客・乗務員数	16万7,086人	前年比-	(16万7,086人増)
国内クルーズ船	入港数	1隻	前年比-
	乗客・乗務員数	819人	前年比-
国際クルーズ船	入港数	95隻	前年比-
	乗客・乗務員数	16万6,267人	前年比-

観光消費額			
1,434億6,275万円	前年比 38.3%増	(約397億円増)	
経済波及効果(長崎県内)			
2,163億円	前年比 38.8%増	(約605億円増)	
訪問客1人あたり市内観光消費額			
平均	26,970円	前年比 5.3%増	(1,347円増)
宿泊客	39,653円	前年比 5.1%増	(1,927円増)
日帰り客	17,684円	前年比 8.9%増	(1,447円増)

令和5年の長崎市の訪問客数は前年比31.4%増(127万600人増)の531万9,400人となった。このうち日帰り客数は前年比34.7%増(79万700人増)の307万1,100人、宿泊客数は前年比27.1%増(47万9,900人増)の224万8,300人となった。

また、旅行形態別にみると、個人客数が前年比39.8%増(137万7,500人増)の483万4,500人、団体客数が前年比18.1%減(10万6,900人減)の48万4,900人となった。

外国人延べ宿泊客数については、前年比552.6%増(21万8,655人泊増)の25万8,226人泊となり、前年を上回る結果となった。

令和5年の観光消費額は、前年比約38.3%増(約397億円増)の1,434億6,275万円で前年を上回った。また、長崎県内への経済波及効果については、前年比38.8%増(約605億円増)の2,163億円となった。

以上の観光動向に影響を与えた要因を以下のとおり分析した。

【主な要因】

▪ 新型コロナウイルス感染症対策の緩和

新型コロナウイルス感染症対策として、屋内では原則着用としていたマスクの着用について、令和5年3月13日以降、屋外・屋内問わず個人判断へ委ねる方針へと変更された。

また、令和5年5月8日から、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが、5類感染症へと変更された。令和2年以降、人流の抑制や全国的な自粛などが行われてきたが、令和5年は3年振りに移動制限のない年末年始となり、5類感染症変更以降初の夏休み・お盆期間のある年となった。

▪ イベント行事の再開

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、各地でイベントの中止が余儀なくされていたが、令和5年では、1月22日から2月5日までの15日間、長崎ランタンフェスティバルが3年ぶりに開催された。また、10月7日から10月9日までの3日間には長崎くんちが4年ぶりの開催となった。

▪ 外国人訪問客への水際措置の撤廃

日本政府は、新型コロナウイルス感染症が「新型インフルエンザ等感染症」と認められなくなる旨公表されたことを踏まえ、令和5年4月29日から、すべての入国者に対して陰性証明書及びワクチン接種証明書の提出が不要となるなど外国人訪問客に対する水際措置が撤廃され、長崎市における外国人延べ宿泊客数においても急回復が見られた。年間では令和元年比79.8%と8割程度まで回復が進んだ。

【その他の要因】

▪ 国際クルーズ客船の入港数減少

長崎港への国際クルーズ客船の入港については、令和5年3月7日に長崎県から国際クルーズ船に対応した「運用方針（改訂版）」及び「国際クルーズ船版緊急時対応計画（初版）」を発表すると同時に、国際クルーズ船の受付を再開したことから、3月17日に長崎港へ約3年ぶりに国際クルーズ船が寄港した。年間実績として95隻の国際クルーズ船が入港したものの、コロナ禍前である令和元年と比較すると46.9%減（84隻減）であり、乗客・乗務員数は、令和元年比77.2%減（562,999人減）と、国際クルーズ船での訪問客について回復には至っていない。

また、長崎空港国際線のうち、令和5年10月30日から長崎-上海線の運航が3年8か月ぶりに再開したものの、長崎-香港線、長崎-ソウル線は令和5年中は運行休止のままであった。

2 観光統計総括表

【単位：人、億円、％】

		令和4年	令和5年	令和5年	
				構成比	前年比増減
訪問客数		4,048,800	5,319,400	100.0	31.4
宿泊の有無別	宿泊客数	1,768,400	2,248,300	42.3	27.1
	日帰り客数	2,280,400	3,071,100	57.7	34.7
旅行形態別	個人客数	3,457,000	4,834,500	90.9	39.8
	団体客数	591,800	484,900	9.1	▲18.1
	一般	283,400	207,500	3.9	▲26.8
	学生	308,400	277,400	5.2	▲10.1
交通機関別	J R	853,800	1,084,200	20.4	27.0
	自動車	2,582,000	3,296,500	62.0	27.7
	船舶	107,700	304,600	5.7	182.8
	航空機	505,300	634,100	11.9	25.5
観光消費額		1,037	1,435		38.3
経済波及効果		1,558	2,163		38.8

3 訪問客数・観光消費額の推移

【単位：人、千円、％】

年	訪問客数		観光消費額			
		前年比増減		前年比増減		
平成21年	5,585,600	26,100 0.5	75,101,615	▲ 788,838	▲ 1.0	
平成22年	6,108,300	522,700 9.4	110,880,935	35,779,320	47.6	
平成23年	5,944,700	▲163,600 ▲ 2.7	109,766,697	▲ 1,114,238	▲ 1.0	
平成24年	5,952,900	8,200 0.1	115,446,919	5,680,222	5.2	
平成25年	6,078,000	125,100 2.1	120,320,106	4,873,187	4.2	
平成26年	6,306,800	228,800 3.8	124,323,000	4,002,894	3.3	
平成27年	6,693,800	387,000 6.1	136,834,458	12,511,458	10.1	
平成28年	6,723,500	29,700 0.4	131,378,500	▲5,455,958	▲ 4.0	
平成29年	7,077,700	354,200 5.3	145,846,150	14,467,650	11.0	
平成30年	7,055,400	▲ 22,300 ▲ 0.3	149,689,454	3,843,304	2.6	
令和元年	6,917,800	▲137,600 ▲ 2.0	149,189,702	▲ 499,752	▲ 0.3	
令和2年	2,560,600	▲4,357,200 ▲63.0	61,066,048	▲88,123,654	▲59.1	
令和3年	2,585,700	25,100 1.0	61,551,969	485,921	0.8	
令和4年	4,048,800	1,463,100 56.6	103,741,749	42,189,780	68.5	
令和5年	5,319,400	1,270,600 31.4	143,462,747	39,720,998	38.3	

※ 観光消費額は、平成22年から次のとおり基礎数値を見直して算定している。

(旧)平成12年度の一泊宿泊時の平均消費額 (新)連泊を考慮した宿泊客全体の平均消費額

図1 訪問客数・観光消費額の推移

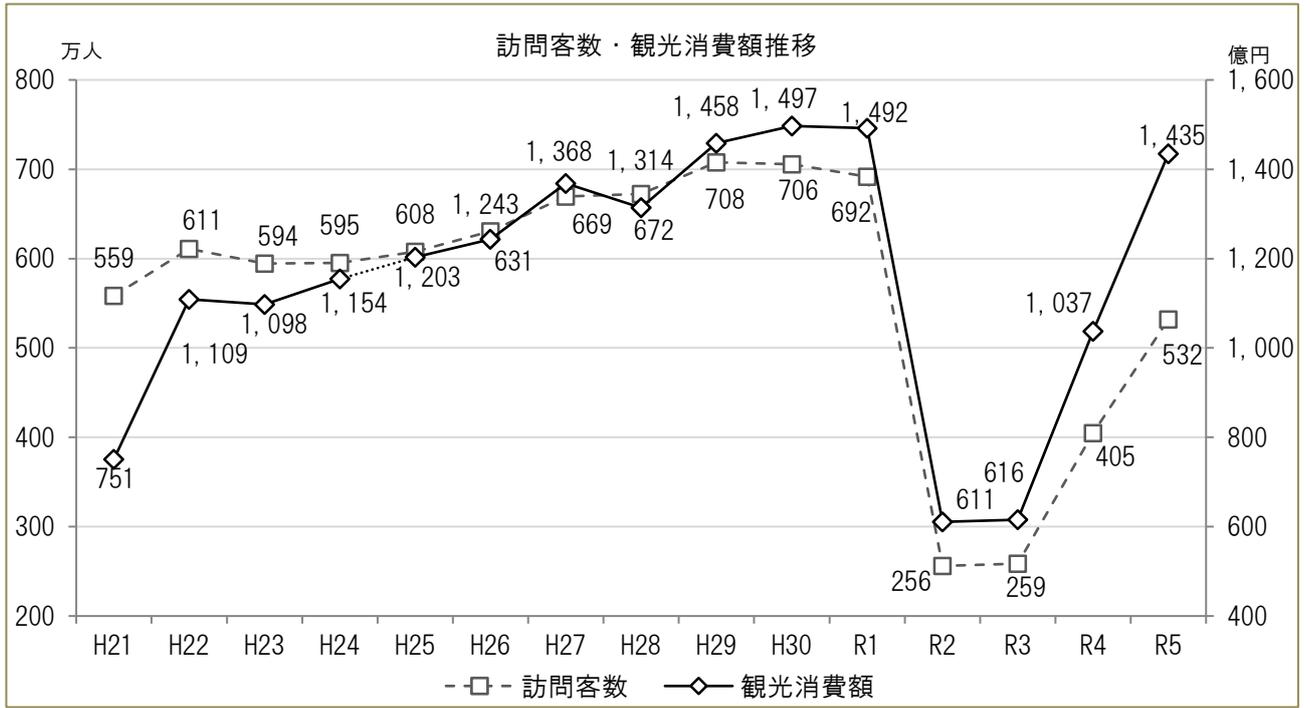
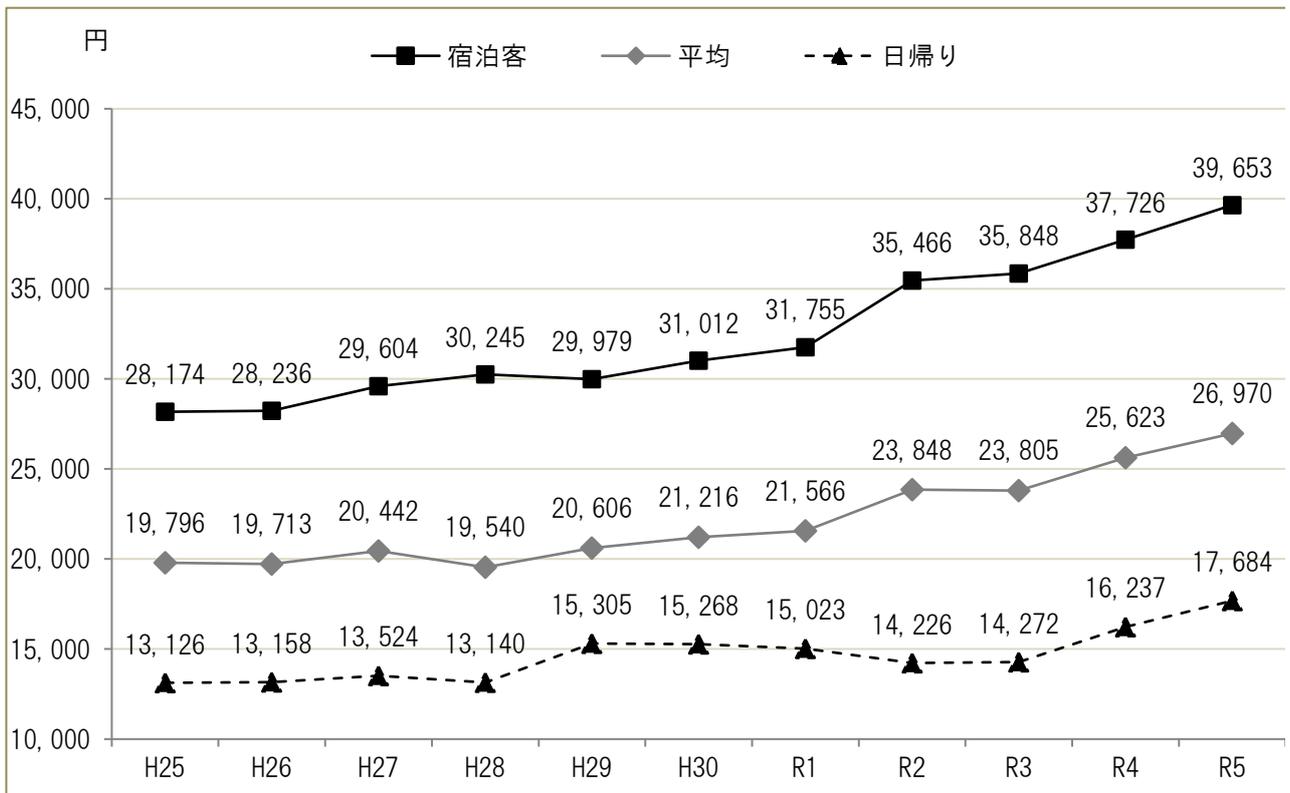


図2 平均観光消費単価の推移

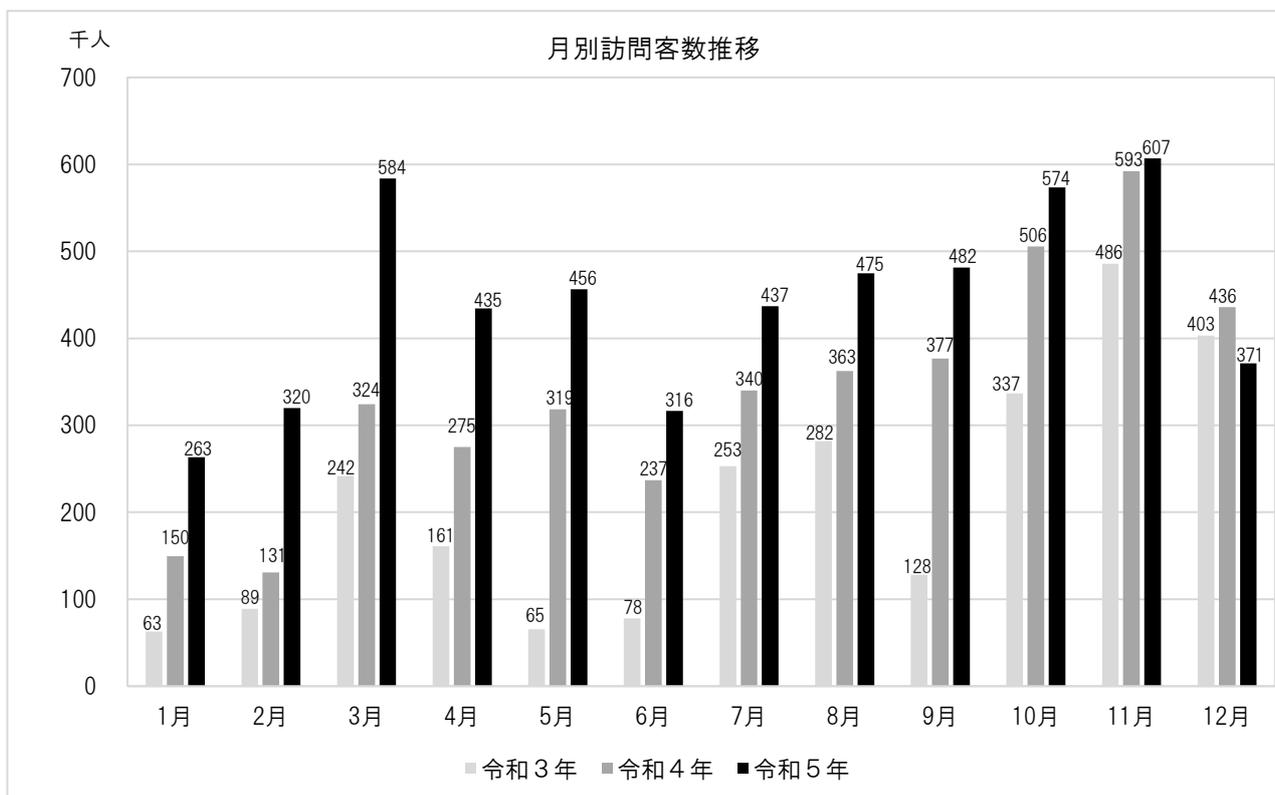


4 月別訪問客数

【単位：人、％】

月	令和3年	令和4年	令和5年	構成比	
				構成比	前年比増減
1月	62,700	149,600	263,400	5.0	76.1
2月	88,900	130,800	319,700	6.0	144.4
3月	241,500	324,300	584,000	11.0	80.1
4月	161,000	275,100	434,500	8.2	57.9
5月	65,300	318,500	456,300	8.6	43.3
6月	77,800	237,000	316,400	5.9	33.5
7月	252,900	340,100	437,100	8.2	28.5
8月	281,500	362,600	474,900	8.9	31.0
9月	128,000	376,700	481,500	9.0	27.8
10月	336,900	505,700	573,600	10.8	13.4
11月	485,900	592,500	606,900	11.4	2.4
12月	403,300	435,900	371,100	7.0	▲14.9
計	2,585,700	4,048,800	5,319,400	100.0	31.4

図3 月別訪問客数の推移

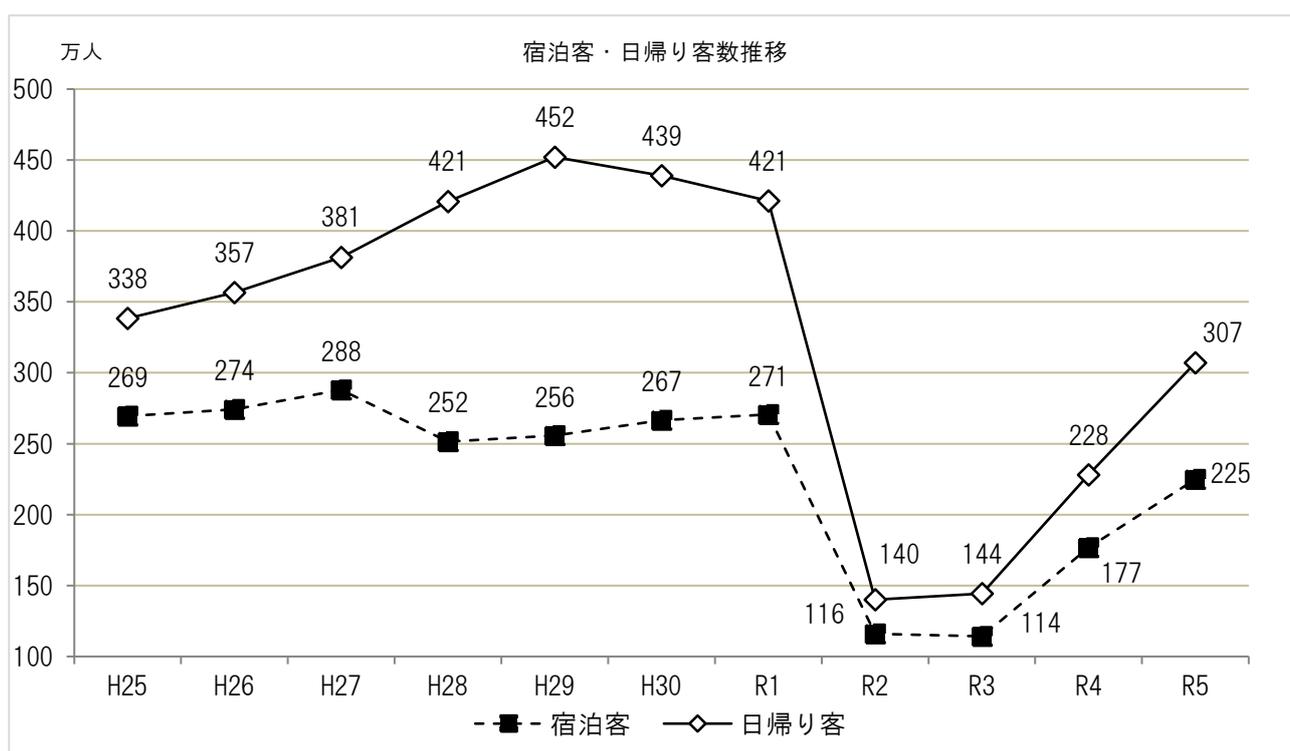


5 宿泊客・日帰り客の推移

【単位：人、％】

年	宿泊客			日帰り客		
	人数	構成比	前年比増減	人数	構成比	前年比増減
平成21年	2,401,700	43.0	▲2.4	3,183,900	57.0	2.7
平成22年	2,557,700	41.9	6.5	3,550,600	58.1	11.5
平成23年	2,529,300	42.5	▲1.1	3,415,400	57.5	▲3.8
平成24年	2,586,800	43.5	2.3	3,366,100	56.5	▲1.4
平成25年	2,694,100	44.3	4.1	3,383,900	55.7	0.5
平成26年	2,741,500	43.5	1.8	3,565,300	56.5	5.4
平成27年	2,879,800	43.0	5.0	3,814,000	57.0	7.0
平成28年	2,515,700	37.4	▲12.6	4,207,800	62.6	10.3
平成29年	2,556,900	36.1	1.6	4,520,800	63.9	7.4
平成30年	2,665,600	37.8	4.3	4,389,800	62.2	▲2.9
令和元年	2,705,200	39.1	1.5	4,212,600	60.9	▲4.0
令和2年	1,160,000	45.3	▲57.1	1,400,600	54.7	▲66.8
令和3年	1,142,400	44.2	▲1.5	1,443,300	55.8	3.0
令和4年	1,768,400	43.7	54.8	2,280,400	56.3	58.0
令和5年	2,248,300	42.3	27.1	3,071,100	57.7	34.7

図4 宿泊客・日帰り客の推移

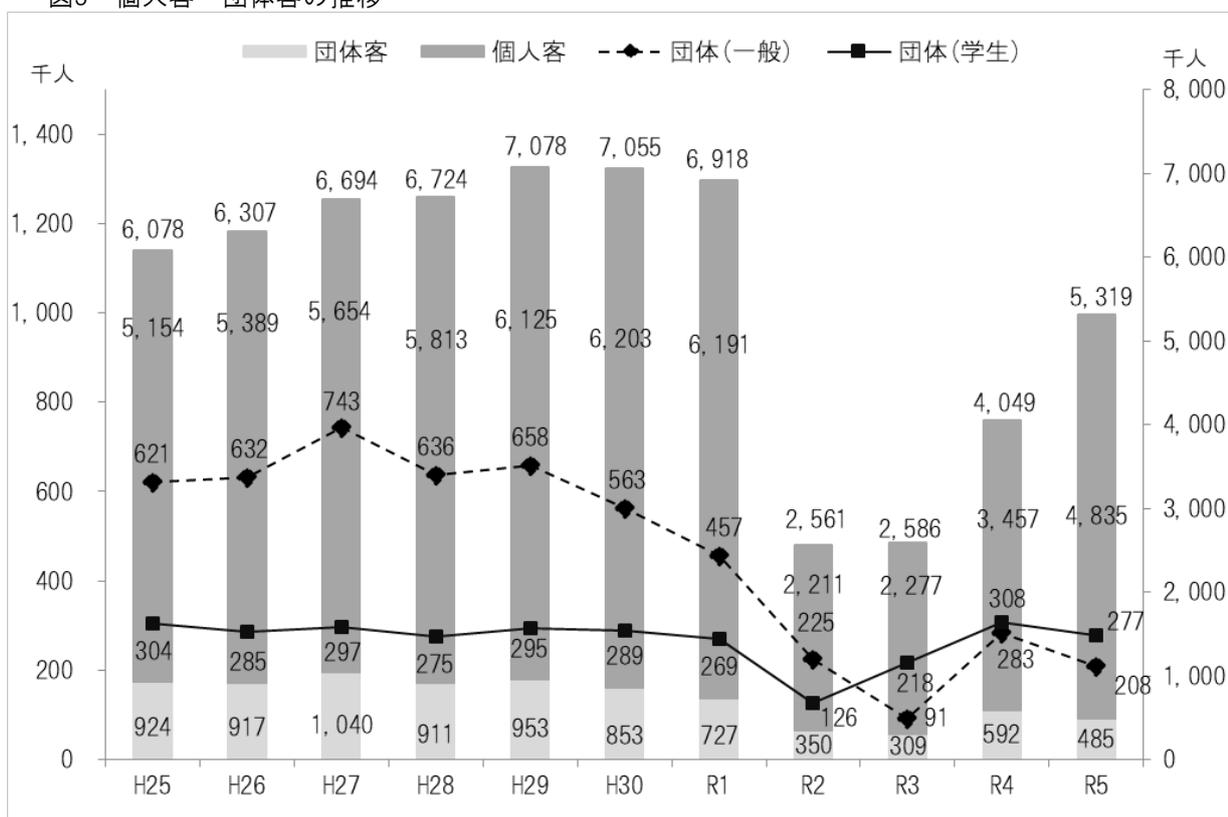


6 個人客・団体客の推移

【単位：人、％】

年	個人客		団体客		一般		学生	
	人数	前年比増減	人数	前年比増減	人数	前年比増減	人数	前年比増減
平成21年	4,863,800	1.8	721,800	▲7.4	430,500	▲15.3	291,300	7.2
平成22年	5,256,900	8.1	851,400	18.0	558,300	29.7	293,100	0.6
平成23年	5,182,900	▲1.4	761,800	▲10.5	434,000	▲22.3	327,800	11.8
平成24年	5,102,100	▲1.6	850,800	11.7	560,300	29.1	290,500	▲11.4
平成25年	5,154,000	1.0	924,000	8.6	620,500	10.7	303,500	4.5
平成26年	5,389,400	4.6	917,400	▲0.7	632,200	1.9	285,200	▲6.0
平成27年	5,653,900	4.9	1,039,900	13.4	742,600	17.5	297,300	4.2
平成28年	5,812,600	2.8	910,900	▲12.4	636,300	▲14.3	274,600	▲7.6
平成29年	6,124,800	5.4	952,900	4.6	658,100	3.4	294,800	7.4
平成30年	6,202,900	1.3	852,500	▲10.5	563,300	▲14.4	289,200	▲1.9
令和元年	6,191,200	▲0.2	726,600	▲14.8	457,200	▲18.8	269,400	▲6.8
令和2年	2,210,500	▲64.3	350,100	▲51.8	224,500	▲50.9	125,600	▲53.4
令和3年	2,277,200	3.0	308,500	▲11.9	90,500	▲59.7	218,000	73.6
令和4年	3,457,000	51.8	591,800	91.8	283,400	213.1	308,400	41.5
令和5年	4,834,500	39.8	484,900	▲18.1	207,500	▲26.8	277,400	▲10.1

図5 個人客・団体客の推移

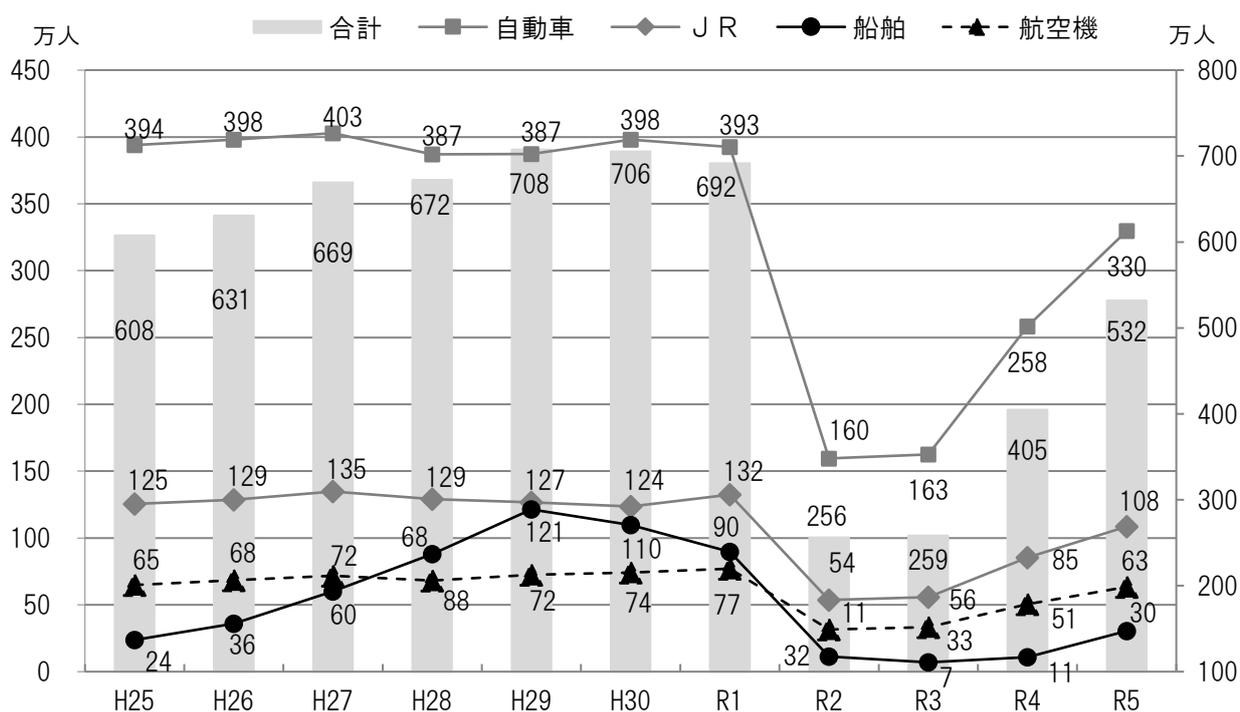


7 交通機関別訪問客数の推移

【単位：人、％】

年	J R		自動車		船舶		航空機	
	訪問客数	前年比増減	訪問客数	前年比増減	訪問客数	前年比増減	訪問客数	前年比増減
平成21年	1,191,600	▲5.6	3,639,000	3.0	222,100	16.0	532,900	▲6.8
平成22年	1,260,400	5.8	4,074,700	12.0	242,200	9.0	531,000	▲0.4
平成23年	1,201,900	▲4.6	3,994,900	▲2.0	198,300	▲18.1	549,600	3.5
平成24年	1,207,900	0.5	3,832,000	▲4.1	278,300	40.3	634,700	15.5
平成25年	1,253,900	3.8	3,938,700	2.8	236,500	▲15.0	648,900	2.2
平成26年	1,285,800	2.5	3,979,300	1.0	358,500	51.6	683,200	5.3
平成27年	1,347,700	4.8	4,028,300	1.2	600,600	67.5	717,200	5.0
平成28年	1,291,700	▲4.2	3,870,900	▲3.9	879,200	46.4	681,700	▲4.9
平成29年	1,266,400	▲2.0	3,872,800	0.1	1,213,600	38.0	724,900	6.3
平成30年	1,236,000	▲2.4	3,979,400	2.8	1,098,200	▲9.5	741,800	2.3
令和元年	1,323,300	7.0	3,926,200	▲1.3	897,700	▲18.3	770,600	3.9
令和2年	536,300	▲59.5	1,595,200	▲59.4	113,500	▲87.4	315,600	▲59.0
令和3年	556,600	3.8	1,625,200	1.9	69,800	▲38.5	334,100	5.9
令和4年	853,800	53.4	2,582,000	58.9	107,700	54.3	505,300	51.2
令和5年	1,084,200	27.0	3,296,500	27.7	304,600	182.8	634,100	25.5

図6 交通機関別訪問客数の推移



8 クルーズ客船入港隻数及び乗客・乗務員数

(1) 国内・国際クルーズ客船入港隻数及び乗客・乗務員数

【単位：隻、人、％】

	令和3年		令和4年		令和5年		
	隻数	推計	隻数	推計	隻数	推計	前年比増減
計	1隻	547	0隻	0	96隻	167,086	-

(2) 国内クルーズ客船入港隻数及び乗客・乗務員数

【単位：隻、人、％】

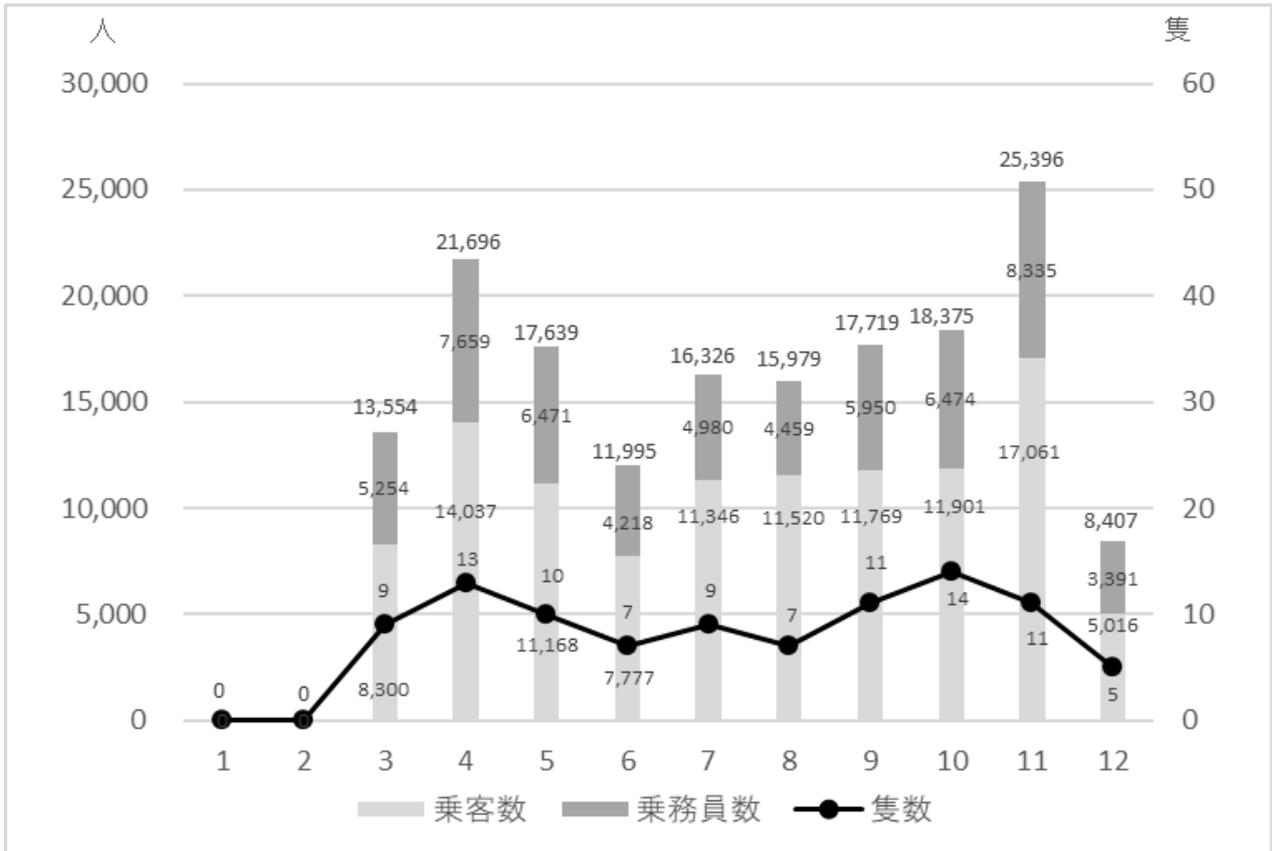
	令和3年		令和4年		令和5年		
	隻数	推計	隻数	推計	隻数	推計	前年比増減
計	1隻	547	0隻	0	1隻	819	-

(3) 国際クルーズ客船入港隻数及び乗客・乗務員数

【単位：隻、人、％】

	令和3年		令和4年		令和5年		
	隻数	推計	隻数	推計	隻数	推計	前年比増減
計	0隻	0	0隻	0	95隻	166,267	-

図7 月別クルーズ客船入港隻数及び乗客・乗務員数

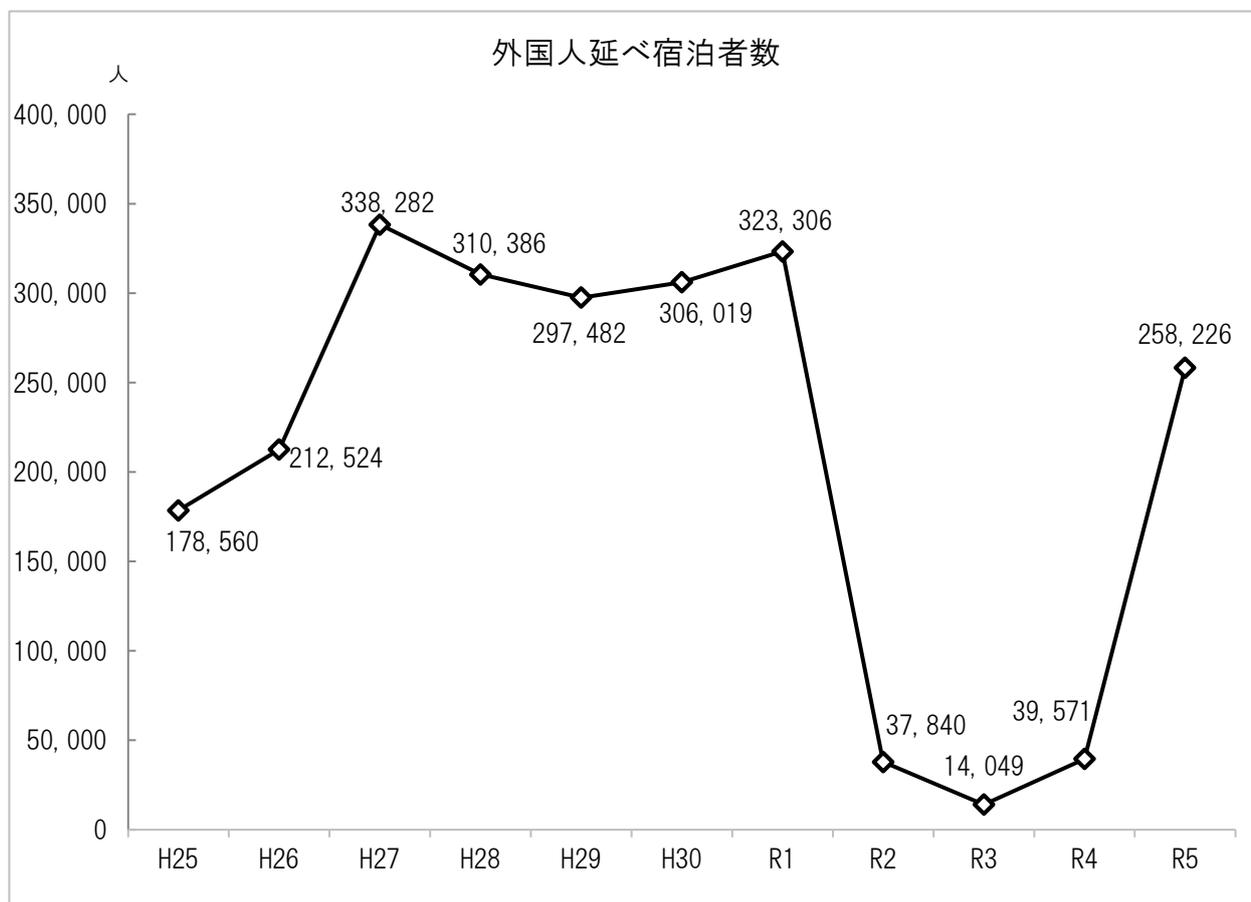


9 外国人延べ宿泊者数の推移

【単位：人泊、％】

年	外国人延べ宿泊者数	前年比増減
平成21年	163,395	▲ 2.3
平成22年	164,335	0.6
平成23年	116,051	▲29.4
平成24年	128,519	10.7
平成25年	178,560	38.9
平成26年	212,524	19.0
平成27年	338,282	59.2
平成28年	310,386	▲ 8.2
平成29年	297,482	▲ 4.2
平成30年	306,019	2.9
令和元年	323,306	5.6
令和2年	37,840	▲88.3
令和3年	14,049	▲62.9
令和4年	39,571	181.7
令和5年	258,226	552.6

図8 外国人延べ宿泊者数の推移

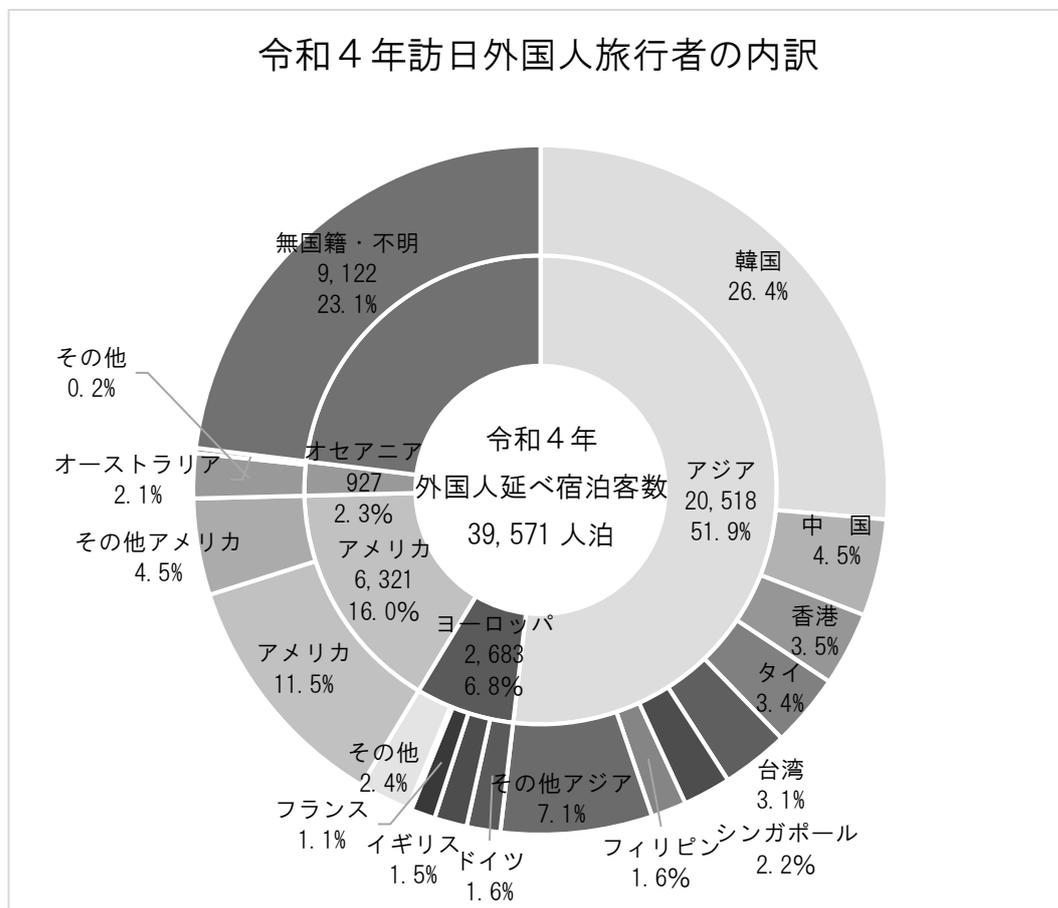
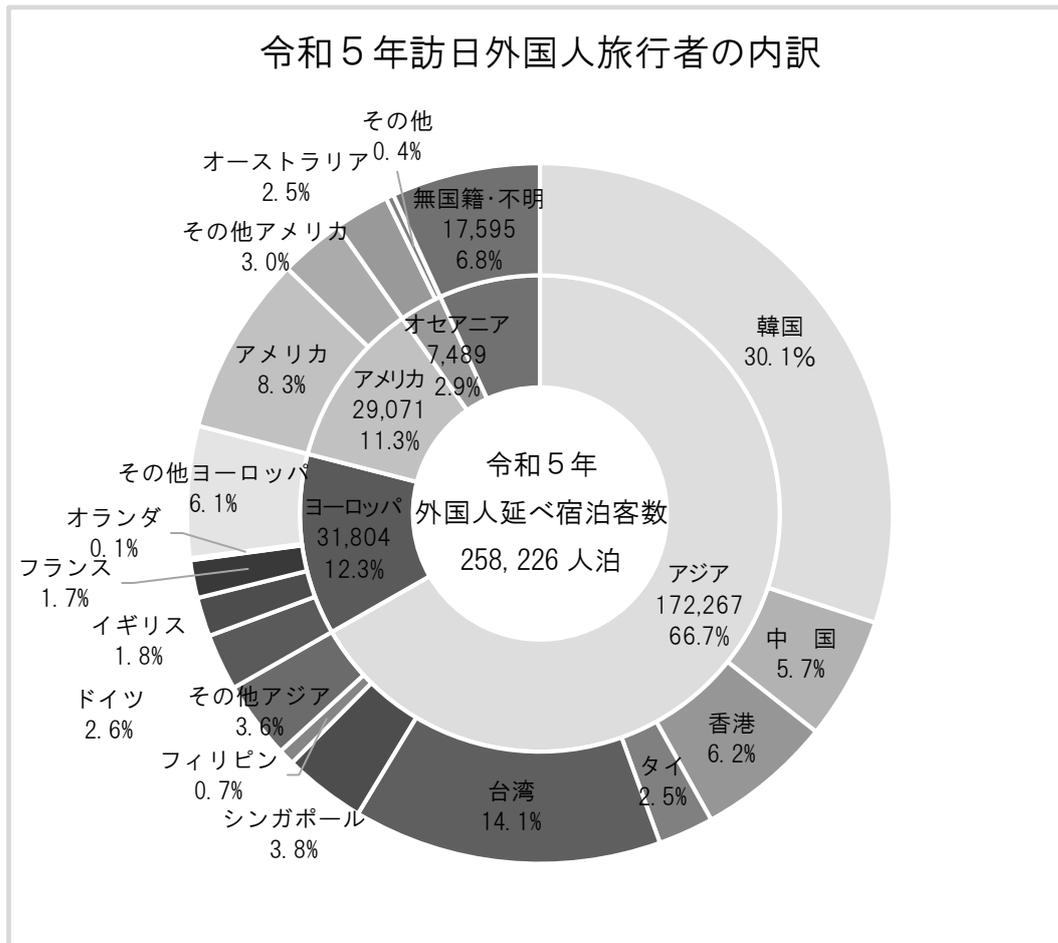


10 国・地域別外国人延べ宿泊者数

【単位：人泊、％】

順位	令和3年		令和4年		令和5年			
	国・地域	推計	国・地域	推計	国・地域	推計	構成比	前年比増減
1	アメリカ	2,520	韓国	10,435	韓国	77,610	30.1	643.7
2	ベトナム	1,077	アメリカ	4,531	台湾	36,517	14.1	2849.7
3	中国	676	中国	1,800	アメリカ	21,418	8.3	372.7
4	イギリス	460	香港	1,372	香港	16,086	6.2	1072.4
5	韓国	438	タイ	1,351	中国	14,592	5.7	710.7
6	香港	370	台湾	1,238	シンガポール	9,744	3.8	1006.0
7	フィリピン	279	シンガポール	881	ドイツ	6,731	2.6	983.9
8	フランス	203	ブラジル	848	タイ	6,563	2.5	385.8
9	台湾	162	オーストラリア	833	オーストラリア	6,553	2.5	686.7
10	ドイツ	129	フィリピン	649	イギリス	4,651	1.8	675.2
11	インドネシア	86	ドイツ	621	フランス	4,505	1.7	905.6
12	オーストラリア	58	イギリス	600	ブラジル	3,405	1.3	301.5
13	タイ	57	ベトナム	540	マレーシア	3,286	1.3	686.1
14	マレーシア	43	フランス	448	カナダ	3,038	1.2	732.3
15	インド	43	マレーシア	418	フィリピン	1,916	0.7	195.2
-	その他	7,448	その他	13,006	その他	41,611	16.2	219.9
計		14,049		39,571		258,226	100.0	552.6

図9 国・地域別外国人延べ宿泊者数構成



※小数点第2位以下を四捨五入しているため、国・地域の合計が一致しない箇所がある。

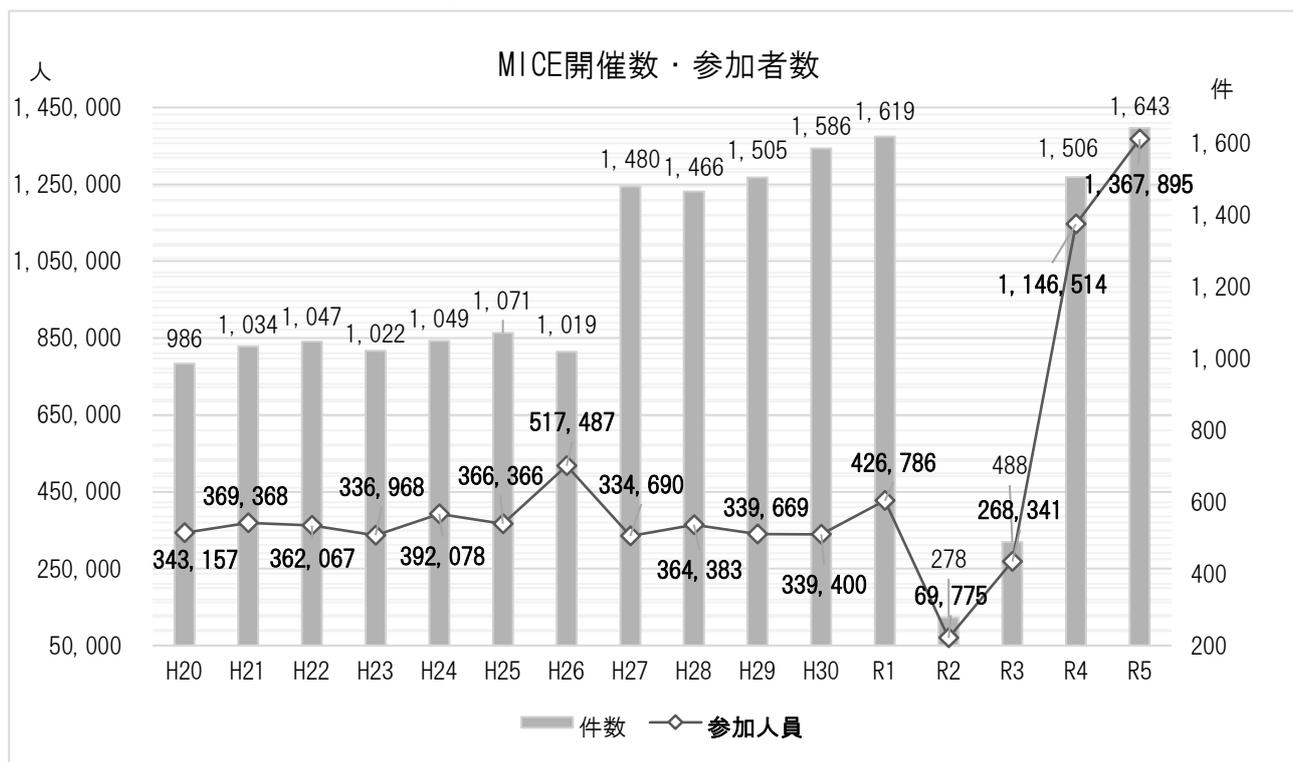
11 MICE統計

(1) 長崎県内以上の大会・会議の開催件数及び参加人員

【単位：件、人】

年	件数	参加人員	
		文化・学術コンベンション等	スポーツコンベンション
平成21年	1,034	—	—
平成22年	1,047	—	—
平成23年	1,022	—	—
平成24年	1,049	745	304
平成25年	1,071	768	303
平成26年	1,019	797	222
平成27年	1,480	1,246	234
平成28年	1,466	1,217	249
平成29年	1,505	1,214	291
平成30年	1,586	1,323	263
令和元年	1,619	1,313	306
令和2年	278	214	64
令和3年	488	351	137
令和4年	1,506	1,257	249
令和5年	1,643	1,370	273

図10 長崎県内以上の大会・会議の開催件数及び参加人員の推移



(2) 規模別の開催件数

① 文化・学術コンベンション等

【単位：件、人、％】

規模	件数				参加人員			
	令和4年	令和5年	構成比	前年比増減	令和4年	令和5年	構成比	前年比増減
100人未満	685	702	51.2	102.5	34,221	35,196	3.2	102.8
100人以上～ 300人未満	335	376	27.5	112.2	50,744	55,994	5.1	110.3
300人以上～ 500人未満	80	95	6.9	118.8	29,559	33,767	3.1	114.2
500人以上～ 1,000人未満	64	66	4.8	103.1	41,213	43,870	4.0	106.4
1,000人以上～ 2,000人未満	51	78	5.7	152.9	69,976	111,839	10.2	159.8
2,000人以上	42	53	3.9	126.2	734,488	815,530	74.4	111.0
計	1,257	1,370	100.0	109.0	960,201	1,096,196	100.0	114.2

② スポーツコンベンション

【単位：件、人、％】

規模	件数				参加人員			
	令和4年	令和5年	構成比	前年比増減	令和4年	令和5年	構成比	前年比増減
100人未満	36	27	9.9	75.0	2,048	1,563	0.6	76.3
100人以上～ 300人未満	89	95	34.8	106.7	14,993	17,236	6.4	115.0
300人以上～ 500人未満	48	57	20.9	118.8	17,519	20,183	7.4	115.2
500人以上～ 1,000人未満	40	39	14.3	97.5	24,542	24,783	9.1	101.0
1,000人以上～ 2,000人未満	16	25	9.1	156.3	20,901	31,571	11.6	151.1
2,000人以上	20	30	11.0	150.0	106,310	176,363	64.9	165.9
計	249	273	100.0	109.6	186,313	271,699	100.0	145.8

(3) 大会規模別の開催件数

① 文化・学術コンベンション等

【単位：件、人、％】

規模	件数				参加人員			
	令和4年	令和5年	構成比	前年比増減	令和4年	令和5年	構成比	前年比増減
県内大会	1,005	993	72.5	98.8	703,513	812,734	74.1	115.5
九州大会	130	179	13.1	137.7	162,364	122,518	11.2	75.5
西日本大会	13	19	1.4	146.2	49,624	23,355	2.1	47.1
全国大会	100	165	12.0	165.0	40,304	104,157	9.5	258.4
国際大会	9	14	1.0	155.6	4,396	33,432	3.1	760.5
計	1,257	1,370	100.0	109.0	960,201	1,096,196	100.0	114.2

② スポーツコンベンション

【単位：件、人、％】

規模	件数				参加人員			
	令和4年	令和5年	構成比	前年比増減	令和4年	令和5年	構成比	前年比増減
県内大会	204	207	75.8	101.5	126,571	122,663	45.1	96.9
九州大会	34	43	15.7	126.5	16,582	23,419	8.6	141.2
西日本大会	3	10	3.7	333.3	1,400	30,865	11.4	2204.6
全国大会	8	13	4.8	162.5	41,760	94,752	34.9	226.9
国際大会	0	0	0.0	-	0	0	0.0	-
計	249	273	100.0	109.6	186,313	271,699	100.0	145.8

(4) 月別の開催件数及び参加人員

【単位：件、人、％】

月	件数			参加人員		
	令和4年	令和5年	構成比	令和4年	令和5年	構成比
1月	59	101	6.1	13,014	24,139	1.8
2月	39	111	6.8	6,966	42,654	3.1
3月	95	103	6.3	101,415	104,067	7.6
4月	109	97	5.9	164,465	118,371	8.6
5月	159	121	7.4	39,309	141,798	10.4
6月	155	175	10.6	41,154	57,174	4.2
7月	154	153	9.3	168,910	166,258	12.2
8月	90	136	8.3	47,283	150,041	11.0
9月	136	146	8.9	151,538	105,512	7.7
10月	181	175	10.6	138,425	103,156	7.5
11月	199	192	11.7	224,970	266,894	19.5
12月	130	133	8.1	49,065	87,831	6.4
計	1,506	1,643	100.0	1,146,514	1,367,895	100.0

12 経済波及効果

直接効果から間接 2 次波及効果までを合計した総合効果 2,163 億円が、「令和 5 年に長崎市を訪れた訪問客」の経済波及効果であり、長崎市を中心とした長崎県内に対して、直接効果（＝県内最終需要）1,307 億円の約 1.65 倍の経済波及効果を及ぼすものと推測できる。

雇用効果をみると、就業誘発効果は全体で 25,648 人と推計され、産業部門別で効果が大きいのは「飲食・娯楽サービス(13,478 人)」、「宿泊業(3,615 人)」、「商業(3,420 人)」である。

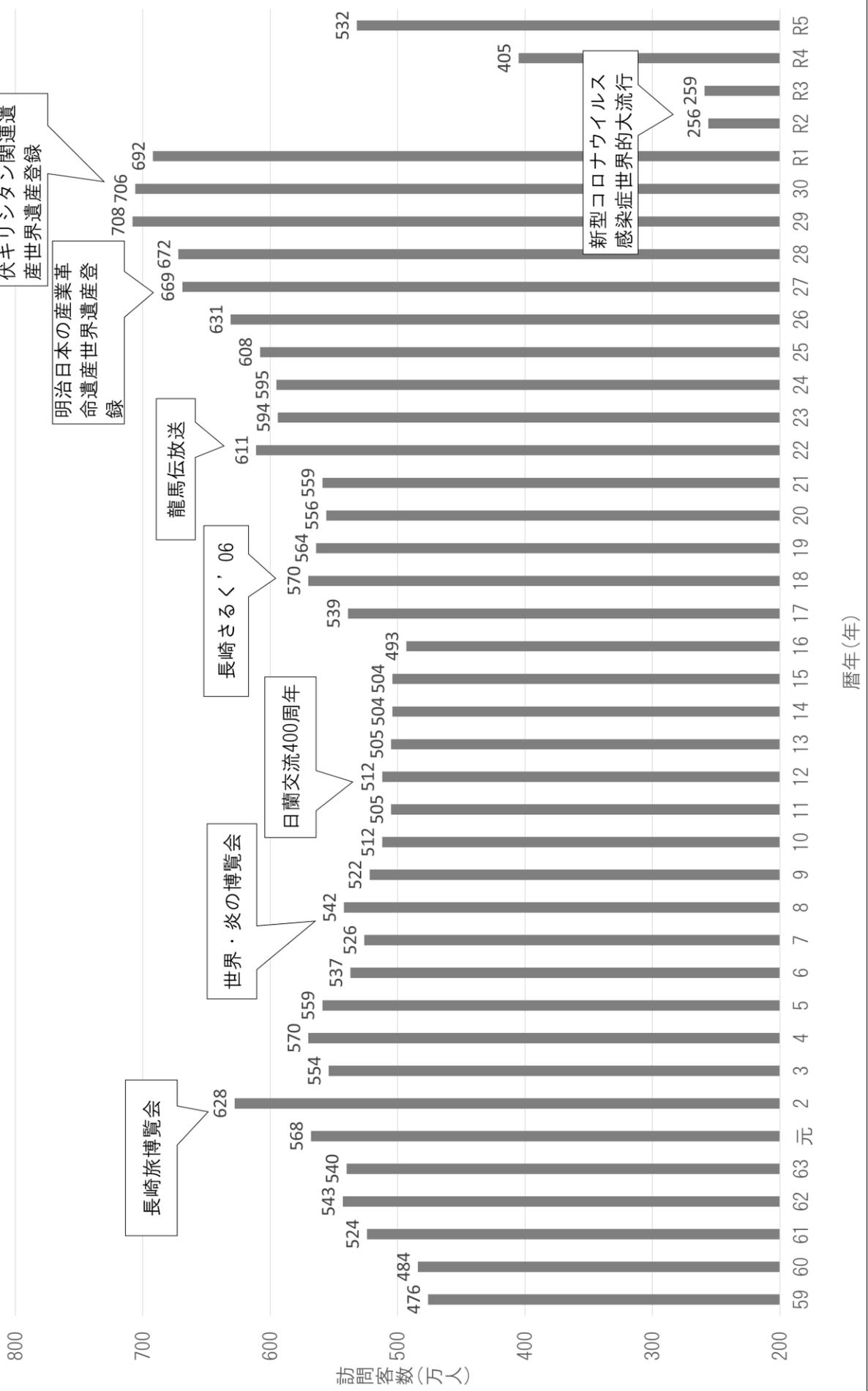
【単位：億円、人、％】

項目	令和 4 年	令和 5 年	前年比増減
総合効果 (①+②)	1,558	2,163	38.8
直接効果…①	941	1,307	38.9
飲食・娯楽サービス	612	861	40.7
宿泊業	236	324	37.3
商業ほか	93	122	31.2
波及効果…②	617	856	38.7
間接 1 次波及効果	404	562	39.1
間接 2 次波及効果	213	294	38.0
就業誘発効果(就業者誘発数)	18,447	25,648	39.0

※四捨五入の関係により、合計が一致しない箇所がある。

参 考 资 料

1 訪問客数の推移



2 主要観光施設の入場者数

【単位：人、％】

施設名	令和3年	令和4年	令和5年	前年比増減
グラバー園	254,514	555,045	721,217	29.9
出島	179,491	364,949	465,663	27.6
原爆資料館	296,631	554,950	741,924	33.7
合計	730,636	1,474,944	1,928,804	30.8

※ 入場者数には無料入場者も含む。

3 主要イベントの集客数及び経済波及効果

(1) 集客数

【単位：人、％】

イベント名	令和3年	令和4年	令和5年	前年比増減
長崎ランタンフェスティバル	中止	中止	530,000	-
長崎帆船まつり	中止	中止	126,457	-
合計	-	-	656,457	-

(2) 経済波及効果

【単位：千円、％】

イベント名	令和3年	令和4年	令和5年	前年比増減
長崎ランタンフェスティバル	中止	中止	4,349,000	-
長崎帆船まつり	中止	中止	算出無し	-
合計	-	-	-	-

4 宿泊施設の状況

種別による部屋数及び収容人員(令和5年4月1日現在)

【単位：軒、室、人】

種別	施設数	部屋数	収容人員
旅館・ホテル	102	3,707	10,587
ビジネスホテル	29	2,905	4,859
民宿・ ペンション	14	111	253
国民宿舎・ホステル・ 保養所、その他	25	347	1,136
計	170	7,070	16,835

※規模別による部屋数及び収容人員は省略。

※令和5年4月1日現在の宿泊施設の実態について調査した結果を集計。

令和5年長崎市観光統計

長崎市文化観光部観光政策課

〒850-8685

長崎市魚の町4-1

電話番号 095-829-1152

FAX 番号 095-829-1232

発行：令和6年6月



長 崎 市